

ひめかみ有機



「ひめかみ有機」は、盛岡市が資源循環型農業を推進するため「盛岡市有機物資源活用施設」において製造している、牛ふん・稲わら・もみ殻を原料とした熟成堆肥です。

堆肥には『土づくり』の資材として土壌の性質を改善して地力を高める効果と、作物へ養分を供給する効果があります。

「ひめかみ有機」は熟成堆肥ですので腐植質が多く、有用微生物の働きにより有機物が分解され植物は緩やかに養分を吸収できるので、土がやわらかくなり植物の根張りがよくなります。またサラサラで取扱いやすいので、農作物はもとより、ガーデニングや家庭菜園にもご使用頂けます。

○製造工程



姫神山の麓、盛岡市玉山字小田沢地内

大自然と澄んだ空気に囲まれて「ひめかみ有機」は作られています。



玉山地域の畜産農家さんから搬入された牛ふんです。

牛ふんは臭いがあり水分もかなり高いため、前処理としてもみ殻を混ぜて水分調整し、一次発酵舎へ搬入します。



一次発酵舎の様子。

ロータリー式攪拌機によって1日1回~2回攪拌し、60mの発酵層を約30日かけて好気発酵しながら進みます。また床面から送風して酸素を送りこみ、好気性微生物の働きを高めます。



堆肥作りに重要な温度管理。

好気性微生物の働きで高温(70°C~80°C)で熟成するので、バイ菌や雑草種子は死滅します。

バイ菌もなくなり安心安全な堆肥は、更に完熟させるため二次発酵舎へ移動します。



二次発酵舎の様子。

一次発酵を終えた堆肥は、成分が均一化するよう混合しながら運搬されます。

この段階で臭いもなくなり、中熟堆肥として利用できます。



二次発酵舎では自走式の攪拌機を使って攪拌します。

攪拌により品質を均一化して緩やかに熟成させると、水分が少なくサラサラで取扱いやすい熟成堆肥ができあがります。



二次発酵舎で攪拌作業を繰り返して約 50 日。
そろそろ熟成堆肥の完成です。



用途に応じ, 40ℓ袋詰・フレコンバック詰・ダンプトラ
ックに直接積込むバラ堆肥があります。それぞれ条件
がありますのでお問合せください。



試験栽培のトマト。
美味しいのですぐになくなってしまいます。
無化学肥料, 無農薬の安心安全なトマトです。

施設連絡先

名称 盛岡市有機物資源活用施設（通称 ひめかみ有機センター）

所在 020-0202 盛岡市玉山字小田沢 3-43

電話・FAX 019-683-3855